

安心と 心地よさを お客様にお届け したいから。

Vol.10



豪雨災害の様子



斜面補強例



斜面防災のための工事を推進し、安全で安定した輸送の提供に向けて取り組みます。

JR西日本では、線路周辺の定期的な検査を行い、斜面の補強、排水設備の整備、落石防護設備の設置等を進めています。加えて、近年の降雨形態の変化に対し、お客様への影響が大きい京阪神地区において斜面防災工事を行うことで、安全性の向上と運転規制時間の縮小を目指しています。また、沿線の斜面に対して、「斜面防災カルテ」の作成に取り組んでおり、対策工事の検討に加えて、経年による変化を把握するなど、検査の精度向上を図るために活用しています。



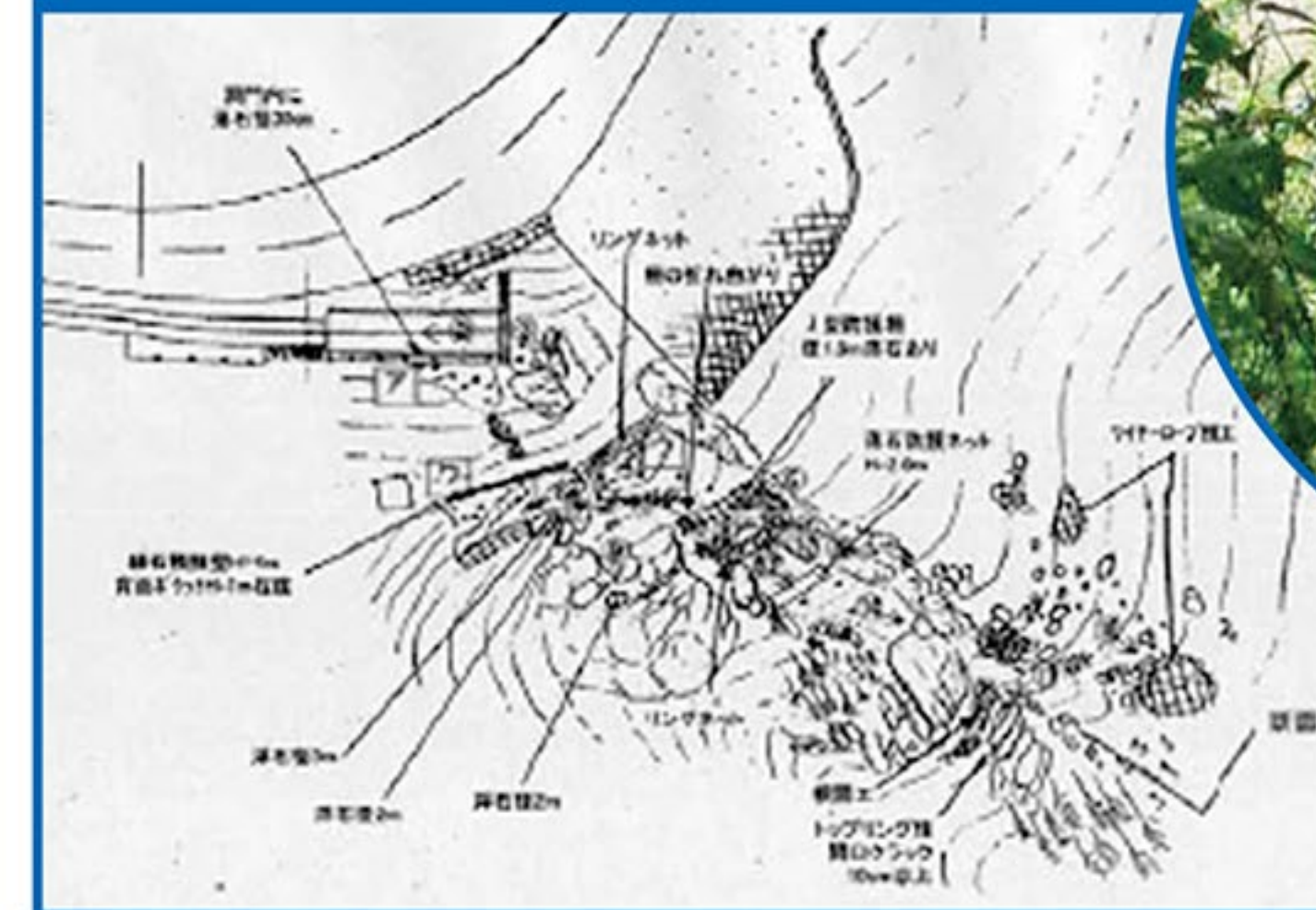
▼ 主な落石防護設備

落石防護網の新設



▼ 斜面の維持管理対策

斜面防災カルテの作成



▲ 沿線斜面の調査状況

◀ 調査スケッチ